



fuzokugimu_7

7年生の成長を感じる日々（学年集会・委員会決め・第3期社創）



（前期学年集会の様子）



（前期学年集会の様子）



(前期学年集会の様子)



(7A 委員会決めの様子)



(7B 委員会決めの様子)



(7C 委員会決めの様子)



(7A 社創の様子)



(7B 社創の様子)



(7C 社創の様子)



(社創について話し合う教員)

10月20日に学年集会、10月28日に後期委員会決め、10月30日に第3期社創委員会がありました。その中で私が感じたのは、7年生の語る力がとても伸びたということです。学年集会では、前期の生徒委員が自分のクラスを見つめ直し、その中で自分が何を感じて、どう行動していったのか、そこから何を見出したのかを語る様子や、前期頑張ってくれた生徒委員に対して、「〇〇さんが生徒委員で良かった」、「〇〇さんがクラスをまとめてくれたおかげでここまでやってこれた」と価値づけをする語りがあり、いい学年だなと思いました。

後期委員会決めでは、自分がどれだけその委員会になりたいのか、その委員会で何をしたいのかを語る様子が多く見られました。「僕はこのクラスで一番この教科が好きだ」、「憧れの先輩についていくために」、「この教科を好きになるために」、「今の現状を変えるために」、「この委員会が自分の一番輝ける場所だ」。何としても目的の委員会に入りたいという子供たちの熱い熱い想いがあふれていて、とても感動的な時間でした。

第3期社創実行委員になってから初めての社創は、今自分が何をしたいのか、社創で何をしたいのかを話し合う時間でした。自分が話す内容が具体的になっているのはもちろん、「なんでそう思ったの」、「それにはどんな意味があるの」など聴き手が意見を否定することなく受け入れ、そこにどんな意味があるのか話し手の意図を引き出そうとしている姿が印象的でした。入学当初の社創よりも話し合う様子にやわらかさがありました。

入学当初、自分のことを語れる生徒はほとんどいなかったように思います。普段の授業や社創、体育祭、文化祭などの学校行事を経て、少しずつ自分の想いを語れるようになってきた子供たちの様子を見て、改めて附属という学校の良さに気付くとともに、これからも何が子供たちのためになるのかを考え続けたいと思いました。

2025年10月30日